

令和4年度 明正小学校 自己評価報告書

学校（園）名：中央区立明正小学校 所在地：中央区新川2-13-4

校（園）長名：佐藤 興二

児童数 395名 学級数：通常級13 通級言語：2 通級難聴：1

教員数 25名 職員数6名

1 重点目標の達成状況及び取組状況

※各項目において、 達成している（十分達成している＋達成している）  
改善を要する（改善を要する＋緊急に改善を要する）  
わからない …の3項目について回答の割合を示す。

重点目標1 「学ぶ楽しさの共有」

- ① 児童は授業の内容を理解し、漢字や計算力などの基礎・基本を身に付けることができたか。
- ・達成している（95.4%） ・改善を要する（4.5%） ・わからない（0%）
- ② 児童は学習することの楽しさを感じながら主体的に取り組んでいたか。
- ・達成している（90.9%） ・改善を要する（9.1%） ・わからない（0%）

重点目標2 「想像力・創造性の育成」

- ① 児童は様々な集団活動に自主的に取り組んでいたか。
- ・達成している（90.9%） ・改善を要する（9.1%） ・わからない（0%）
- ② 児童は状況に応じたあいさつをしていたか。
- ・達成している（50.0%） ・改善を要する（50.0%） ・わからない（0%）
- ③ 児童は友達の良さを見つけたり、思いやりのある行動をとったりしていたか。
- ・達成している（63.6%） ・改善を要する（36.4%） ・わからない（0%）

重点目標3 「健康な体の育成」

- ① 児童は、体育朝会やなわとび大会・マラソン大会等の取組を通して、運動する楽しさを味わっていたか。
- ・達成している（90.9%） ・改善を要する（4.5%） ・わからない（4.5%）
- ② 児童は、手洗い・うがいなどの健康を維持する活動や食育の授業を通して、心身の育成や健康について意識を高めていたか。
- ・達成している（90.9%） ・改善を要する（0%） ・わからない（9.1%）

上記重点目標の1と3については概ね満足できる達成状況であるが、2の②については、達成している割合が50%に留まっている。昨年度より若干上昇しているが、教員側はまだまだ児童にもっと挨拶してほしいという願いをもちつつ、声かけ、励ましなどの取組を行っている。

## 2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

学習活動、道徳教育、生活指導等学校の教育活動全般について105項目に亘り評価を試みた。ほとんどの項目で『達成している』回答が90%の評価をしている。これを下回ったのが、「児童に道徳的な心情や判断力がついているか。」で63.6%。また「情報モラルに関して実態に応じた指導が行われているか。」で77.3%であった。

学校生活において、児童間のトラブルの中で暴言や暴力が目立つ傾向が見られる。とくに低学年層においてつい手が出てしまう、という様子がみられた。相手を傷つける行為に対し、毅然とした指導が求められると共に、道徳授業など様々な場面を通して相手意識を高める指導を要するところである。令和3年度から、一人1台のタブレット配付が始まったが、タブレットをもつ事への責任感を高め、情報モラルの啓発を進めていく必要がある。

## 3 今後の改善方策

重点目標の一つである「あいさつ」については、児童アンケートや保護者アンケートでは、十分達成していると評価されている。教員側との意識の違いが明確な項目である。している側と受け止める側との認識の違い、という面も見られるのであろう。これまでも児童会活動などを通して取り組んできたが、様々な工夫と取組でより向上させていくことで、教員側でも達成感が高められるよう努力していく。

友達の良さを見つけたり、思いやりのある行動をとったりすることへの指導は、道徳的な心情や判断力の育成のためにも道徳科の授業を始め、常時活動においても意識させるような指導が求められる。また、児童の思いやりが感じられる場面で教師がしっかり褒める事を通して、児童への意識向上に努めていきたい。